

# 世界へ発信 東京ブランド

東京五輪・パラリンピックまであと1年  
交通混雑問題の回避 大命題

少子高齢化や2025年問題、首都直下型地震の脅威など、将来の危機に備えつつ日本経済の活性化をけん引する首都・東京。2020年東京五輪・パラリンピックを控え、一部で好況を博すも、米中貿易摩擦はまた決着したとは言えず、10月には消費増税が予定されるなど、中小企業を取り巻く懸念材料は山積する。その中で、生き残りをかけられた技術に磨きをかける中小企業、支援する東京都、各支援機関の取り組みを紹介する。

五輪・パラリンピック開催まで1年を切った。大会の円滑な運営、成功には大会期間中の交通混雑を回避することが重要だ。メカニクス・東京のスムーズな交通網実現をどう進めるのか。小池百合子都知事に、働き方改革を進め、大会後のレガシーへとつなげていく構想について聞いた。

「スムーズな交通確保のための対策は、円滑な交通管理は最も重要な課題です。経済活動と大会成功の二つを両立させるには、さまざまな対策とともに、皆さまの共通理解も必要になる。合理的な判断が行えるよう詳細な情報を丁寧に伝えていく」  
「交通需要マネジメント（TDM）、時差バス、テレワークの3本柱を『スムーズ』と称して一体的に進めている。企業の働き方改革も直結する。大会にあわせて同時に進めていきたい」  
「企業向け説明は、『先日の東京商工会議所での決起大会でもお話しさせていただいたが、商品や材料などの輸送・ロジスティクスを前もって想定していただきたい。物流の効率化などを企業説明会を通じて丁寧に説明していく。本年度は全体説明会・エリア別説明会を約300回、コンサルタントによる無料相談約3600回予定する。前もってできること、大会期間中に進めていただきたことなど多くの知恵、工



東京都知事 小池 百合子氏

## テレワーク 試行

官民で取り組み



7月1日に都内で開かれた「テレワーク・デイズ2019&スムーズ推進期間イベント」。さまざまな取り組みが紹介された。

交通機関の混雑緩和に向け、今夏実施する官民の先進的な取り組みが始まった。東京都では本庁勤務職員約1万人を対象に、チャレンジウィークとして8〜10時のオフピーク出勤を実施。7月24、26日に続き、8月2、23日の4日間は出勤者数を3分の1に減らす。7月と8月の平日計20日間は、約2800人が週1回以上のテレワークを計画する。



## ラグビーワールドカップ2019 日本大会

6月16日に丸ビルでマルキュウが開かれた「ラグビーワールドカップ2019日本大会100日前イベント」。都の開催都市特別サポーターを務める山田健一選手（左から2人目）らが登壇し、世界的な大会の機運を盛り上げた（東京都提供）

## 働き方改革にも直結

「4年に一度じゃない。一生に一度だ」ONCE IN A LIFETIME「ラグビーワールドカップ2019日本大会が、9月20日に開幕する。日本初、アジア初となる同大会。東京スタジアム（東京都調布市）での開幕戦「日本対ロシア」を皮切りに、全国12会場で全48試合、世界各地の全20チームが激突する。開催都市・東京都では大会期間中、約2400人のボランティアが会場周辺や最寄り駅で活動し、スムーズな運営に努める。また、東京スタジアムでの試合日と大会期間中の土・日（15日間）は、多摩会場と区部会場にファンゾーンを設け、パブリックビューイングや公式グッズ販売、ラグビー体験、交流エリアなど、チケットがなくても楽しめるよう11月2日まで盛り上げる。

INDEX	
11面	小池百合子都知事インタビュー
12面	産業政策で活性化
13面	産業政策 区長の一言
14面	都の主な補助金一覧
15面	主要団体と金融機関トップメッセージ
16面	エクセルントカンパニー
17面	エクセルントカンパニー
18面	中小企業基盤整備機構関東本部 占部治本部長インタビュー

# 総合包装梱包機

トータルパッケージソリューション

# 美包御従

innami 株式会社印南製作所 〒120.0047 東京都足立区宮城1-12-22 TEL:03.3912.2976 FAX:03.3919.6654 https://www.innami-factory.co.jp

美しい荷姿で届いた瞬間の感動を演出 詳しくはWEBサイトをチェック!